

# 三重縣公報

第三三三六十九號

昭和十四年二月四日

土曜 日

## 告示

●三重縣告示第七十一號

區劃漁業權存續期間更新ノ件免許シ免許漁業原簿ニ登録シタルモノ左ノ如シ

昭和十四年二月四日

三重縣知事 佐藤正俊

免許番號	免許年月日	漁業權者ノ住所氏名	漁場ノ位置	漁業ノ種類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期	漁業權存續期間
一八〇九	昭和十四年一月二十六日	津市大字藤方三百七十五番地 藤方浦漁業組合	津市藤方字下ノ割字中ノ割地先	第一種漁業 海苔築建 養殖業	海苔	自十月一日起至翌年三月卅一日	五箇年

條件 一、漁場區域中ロヌ、ヌチ、チロ、各線ニテ圍マレタル區域ヲ削除ス  
 二、河川ノ改修治水上必要アルトキ又ハ船舶ノ航行礙繫若ハ排水上支障アリト認ムル場合ハ本漁業權ヲ制限シ又ハ取消スコトアルベシ

## 廳中事項

●敝任辭令

昭和十三年十二月三十一日

三重縣公立小學校訓導  
(多氣郡領内校)  
九級俸當分月俸六拾六圓給與

奥井貫一

三重縣公立小學校訓導  
(多氣郡領内校)

阪口幸市

十級俸當分月俸六拾貳圓給與  
昭和十四年一月九日

三重縣公立小學校訓導  
(松阪市第四校)

眞弓護

志摩郡桃取尋常高等小學校訓導ニ補ス

三重縣公立青年學校助教諭  
(志摩郡柳原校)

森田たま

三重縣公立小學校訓導ニ任ス

本科正教員勤務

十四級俸給與

志摩郡磯部尋常高等小學校訓導ニ補ス

昭和十四年一月二十七日

津市長 堀川美哉

津商工會議所會頭 田中林助

伊勢輸出タオル工業組合理事長 森田庄三郎

(各通) 萬古陶磁器工業組合理事長 山本増治郎  
伊賀燒陶器工業組合理事長 松本重道  
三重縣漁網工業組合理事長 平田佐矩  
日本アイロン工業組合理事長 山本重治郎  
三重縣副業協會主事 島友一

三重縣中小工業輸出品並ニ代用品研究委員會委員ヲ囑  
託ス

辰己市藏  
森田庄藏

地方技師 橫山長藏  
地方技師 佐藤良太郎

地方商工技師 伊藤眞吾  
地方商工技師 中島要雄

地方農林主事 山下菊次郎  
地方農林主事 竹井幾右衛門

(各通) 公立實業學校長 溝口松雄  
公立實業學校長 矢野九三  
公立實業學校長 櫻井吉雄

公立實業學校長 竹井幾右衛門  
公立實業學校長 溝口松雄

公立實業學校長 矢野九三  
公立實業學校長 櫻井吉雄  
地方商工技師 岡尾嘉美

地方商工技師 木幡計  
地方農林技師 佐藤慶次郎

三重縣中小工業輸出品並ニ代用品研究委員會委員ヲ命  
ス

地方商工技師 田山幹太郎

(各通) 三重縣屬 黒田健

三重縣中小工業輸出品並ニ代用品研究委員會幹事ヲ命  
ス

三重縣屬 館壽

(各通) 三重縣技手兼三重縣屬 林茂雄

三重縣中小工業輸出品並ニ代用品研究委員會書記ヲ命  
ス

昭和十四年一月三十一日 山川眞澄

任三重縣屬

給十一級俸

學務部社會課勤務ヲ命ス

三重縣社會事業主事補 山川眞澄

爾今俸給ヲ給セス

山口國松

公立實業學校長 竹井幾右衛門  
公立實業學校長 溝口松雄

公立實業學校長 矢野九三  
公立實業學校長 櫻井吉雄

公立實業學校長 溝口松雄  
公立實業學校長 矢野九三

公立實業學校長 櫻井吉雄  
地方商工技師 岡尾嘉美

地方農林主事 山下菊次郎  
地方農林主事 竹井幾右衛門

地方商工技師 伊藤眞吾  
地方商工技師 中島要雄

地方農林主事 山下菊次郎  
地方農林主事 竹井幾右衛門

公立實業學校長 溝口松雄  
公立實業學校長 矢野九三

公立實業學校長 櫻井吉雄  
地方商工技師 岡尾嘉美

三重縣社會事業主事補ニ任ス  
判任官四等ヲ以テ待遇セララル

十一級俸給與  
學務部社會課勤務ヲ命ス

東正生

伊勢丸機關士ヲ命ス

十一級俸給與  
昭和十四年二月一日

刀根俊男

任三重縣屬

給五級俸

經濟部經濟更生課勤務ヲ命ス

三重縣農林主事補 刀根俊男

月俸拾圓給與

三重縣屬 益淵誠一

給七級俸

依願免本官

昭和十四年二月二日

三重縣農林技手 梶原高雄

願ニ依リ本職ヲ免ス

三重縣書記官 菅澤 肇

普通試験委員ヲ命ス  
縣吏員銓衡委員ヲ命ス  
文官普通懲戒委員ヲ命ス  
文官普通分限委員會委員ヲ命ス

●改名

三重縣屬大野坂松ハ大野眞資ト昭和十三年十二月二十三日改名セリ

●改姓

三重縣穀物検査員渥美角太郎ハ昭和十三年十一月二十五日伊藤ト改姓セリ

彙報

●町村長異動

昭和十三年十月二十日退職

昭和十三年十月二十三日就職 三重郡千種村長 秦 七右衛門

昭和十四年一月十三日死亡 三重郡千種村長 橋 里吉

昭和十四年一月十五日退職 三重郡鶴川原村長 太田 貞

昭和十四年一月二十八日就職 安濃郡安西村長 駒田 秀雄

三重郡鶴川原村長 進 士久次

●方面委員死亡

度會郡下外城田村方面委員中西善次郎ハ一月二十六日死亡セリ

通牒照會

●社兵第二六二號

昭和十四年二月四日

支廳長 殿

各市町村長 殿

寄留地受檢許可者通知ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ鹿兒島縣ヨリ左記ノ通り通牒有之候條御了知相成度此段及通牒候也

十四社兵第四二號

昭和十四年一月二十七日

各府縣兵事官 殿

支廳管下在籍寄留地受檢許可者通知ニ關スル件

本縣大島郡及熊毛郡ニ於ケル兵事事務ハ當該支廳長ノ所管ニ屬シ候ニ就テハ同郡内在籍者ニ對スル兵役法施行規則第百六十六條第二項ニ依ル寄留地受檢許可通知ハ自今必ス左記支廳長ト照復相成度尙貴管下支廳長、市、區、町、村長ニ對シテハ乍御手数數此旨示達相成度及依頼候

記

大島支廳長 (大島郡全町村)

熊毛支廳長 (熊毛郡全町村)

三重縣兵事官

鹿兒島縣兵事官

●商第三一七號

昭和十四年二月四日

經濟部 長

支廳長 殿

各市町村長 殿

ステールフルファイバー織物規格ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ昭和十三年十月二十九日附二三調四第二、一〇四號ヲ以テ通牒相成候處二月一日以後ニ於テ右規格ニ依リ製造セル織物ヲ一月三十一日以前ニ製造セル織物ト區別スル爲製造業者ヲシテ織物ノ一端ノ見易キ箇所ニ左ノ印章ヲ押捺セシムルコトト可致候ニ付テハ貴部内關係業者ニ周知徹底方相成度此段及通牒候也

新規格

縦五センチメートル

赤色

横三センチメートル

●耕第一一二號

昭和十四年二月四日

經濟部 長

支 廳 長 殿  
各 市 町 村 長 殿

昭和十三年度災害關係資金(農林省關係)中  
個人連帶使用分融通ニ關スル件

標記資金中公共團體及各種組合使用分ノ融通條件及取扱手續ニ關シテハ一月十七日附經第一、一五四號ヲ以テ及通牒置候處今回個人連帶使用分ニ付別紙融通條件及取扱手續ニ依リ融通セラルル事ト相成候條借入ヲ必要トスル向キニ對シ周知方可然御取計相成度此段及通牒候也

追而資金借入申請書ハ別添様式ニ依リ三月三十一日迄ニ當廳ニ到達スル様提出セシメラレ度申添候

(別紙)

昭和十三年度災害關係資金(農林省關係)融通條件及取扱手續(個人連帶分)〔抄録〕

一、用 途

本資金ハ昭和十三年中ノ災害ニ基キ災害地方ニ於ケル個人等ニシテ國庫ノ補助ニ基ク道府縣ノ補助ヲ受ケテ昭和十三年度及十四年度中ニ施行セントスル耕地應急、耕地復舊事業費(分擔金ヲ含ム、事業費ニ付テハ補助金ヲ差引タル殘額ヲ限度トス)ニ充當スルモノトス

二、融通ノ形式

勸業債券ノ引受ニ依ル

日本勸業銀行ハ右ニ依リ得タル資金ヲ災害關係資金トシテ直接被害者ニ貸付クルモノトス

三、融 通 利 率

銀行ノ貸付利率ハ年三分九厘以内

四、償還期限

二十箇年以内(五箇年以内ノ据置期間ヲ含ム)

五、融通打切期限

銀行ノ被害者ニ對スル融通ハ昭和十五年五月末日トス

六、元利支拂期日

五月一日及十一月一日トス

七、取扱手續

イ、地方長官ハ本通牒ニ依ル割當額ノ範圍内ニ於テ資金經由機關(日本勸業銀行)ト協議ノ上借入主體ニ

對スル配分額ヲ定ムルコト

ロ、地方長官前項ニ依リ配分額ヲ定メタルトキハ當該借入主體ニ之ヲ通知スルコト

ハ、略

ニ、略

ホ、借入主體ノ項ニ依ル配分額ノ通知ヲ受ケ本資金ノ借入レヲ爲サントスル場合ハ直ニ資金經由機關ニ

付借入レノ手續ヲ爲スコト(資金經由機關ニ於テハ大藏大臣ヨリ各借入主體ニ對スル配分ノ通知ヲ

受ケタル上貸付ヲ實行スルコト)

ヘ、前各號ニ定ムルモノヲ除ク外預金部普通地方資金融通規則ニ準據スルモノトス

(様式)

預金部資金(災害關係資金「農林省關係」)借入申込書

一、資金年度及資金名 昭和十三年度災害關係資金

一、金額 圓

一、資金ノ用途 何々(工種)復舊事業費

一、償還ノ方法 年賦(又ハ定期)

一、期限 何年据置何年何月迄ニ償還(定期償還ノ場合ハ何年何月償還)

一、經由機關名 株式會社日本勸業銀行

〔附記〕 1、復舊事業費豫算額

2、償還ノ財源

右ニ依リ預金部資金借用致度此段及申込候也

年 月 日

何市郡何町大字何々

借入主體 何 某 外 名

代表者 何 某 印

三重縣知事 殿

昭和十四年二月四日印刷發行

三重縣公報(第三種郵便物認可)

三重縣津市下部田千六百十九番地ノ二  
印刷所  
振替口座番號  
名古屋一四五〇六番